

第七十六回
帝國議會
貴族院

民法中改正法律案特別委員會會議事速記録第二號

昭和十六年一月三十日(木曜日)午前十時
二十九分開會

○副委員長(子爵加藤泰通君) 只今ヨリ前
回ニ引續キマシテ開會致シマス、政府委員
員……

○政府委員(坂野千里君) 本日御手許ニ配
付致シマシタ昭和十二年ヨリ十五年ニ至ル出
征軍人軍屬未亡人ニ對スル離籍ノ無効確認訴
訟事件調ト云フノ御手許ニ差上ゲテアリマ
マスガ、ソレニ付キマシテチヨット申上ゲタイ
ト思ヒマス、昨日奥田男爵カラ御尋ネガアリ
マシテ、判決ガ七件ト申上ゲテ置キマシ
タ、ソレハ私ノ手許ニ贖本ガ參ッテ居リマシ
タノガ七件デゴザイマス、其ノ後判決ガアツ
報告ヲ得テ居リマスノガ、御手許ニ差上ゲ
タキウニ全部デ十八件ニナルデアリマス、
其ノ十八件ノ中十六件ガ確定致シテ居リマ
シテ、此ノ十八件總テ原告ノ勝訴、即チ離
籍ノ無効ヲ確認シタ、斯ウ云フコトニナル
譯デアリマス、ソレカラ和解ニナリマシタ
ノガ二件ゴザイマスガ、其ノ中ノ一件ハ、
和解ノ條項ノ中ニ無効ナルコトヲ認メテ、
其ノ離籍ヲ回復スル手續ヲスル、斯ウ云フ
ヤウナ條項ガゴザイマス、結局原告ノ立場
ヲ認メタコトニナル、モウ一ツノ和解ノ方
ハ、原告ハ訴ヲ取下ゲルガ、其ノ代リ特別
賜金等ハ全部原告ノ方ニ載ク、斯ウ云フコ
トニナツテ和解ガ出來テ居リマス、ソレカラ
取下ゲノ分デゴザイマスガ、ハ恐ラク下ノ
方デ和解ガ出來マシテ、取下ゲタノデハナ
イカト考ヘラレマスガ、此ノ事情ハ分リ兼
ネマス、サウ云フ事情ニナツテ居リマスカラ

申上ゲテ置キマス
○副委員長(子爵加藤泰通君) 別ニ御質問
ハゴザイマセヌカ
○男爵奥田剛郎君 チヨット一點ダケ伺ヒ
タイノデアリマス、昨日伺ッタノデスガ、チ
ヨット分リ兼ネマシタノ改正メテ御尋ネヲ致
シマスガ、戸籍法ノ六十七條ト、ソレカラ
今度改正ノ爲ニ加ヘラレマシタ戸籍法ノ第
十四條ノ三トノ關係ヲチヨット伺ヒタイト
思ヒマス

○政府委員(坂野千里君) 戸籍法ノ六十七
條ノ第一項ノ方ハ届出ノ受理又ハ不受理ノ
證明書ト云フ譯デゴザイマス、斯ウ云フモ
ノヲ受理シタカシナイカト云フ證明書デゴ
ザイマス、十四條ノ三八戸籍ニ記載シテ居
リマス事實、ソレヲ書キマシテ、斯ウ云フ
コトガ戸籍ニ記載シテアルト云フコトノ證
明ヲ受ケテ居リマス、ソレガ戸籍ニ記載シ
テアルト云フ證明ヲ與ヘルト云フ譯デアリ
マス

○男爵奥田剛郎君 今ノ六十七條ノ第一項
デナク、二項、三項ノ方デゴザイマス、何
項アツタカチヨット覺エマセヌガ……

○政府委員(坂野千里君) 其ノ方ハ戸籍ノ
届書ニ添付致シマス書類ガゴザイマス、其
ノ書類ニサウ云フコトガアツタ、斯ウ云フコ
トノ證明ニナリマス、此ノ戸籍法ニ記載シ
テアツタ事實ノ證明デハナイノデアリマス、
十四條ノ三八戸籍法ニ記載シタ事項ニ關係
ガアル、六十七條ノ二項ト三項トハ關係ガ
ナク此ノ方ガ出テ參ルコトニナリマス

○男爵奥田剛郎君 分リマシタ

○副委員長(子爵加藤泰通君) 他ニ御質問
ガゴザイマセヌケレバ是ヨリ討論ニ移リタ
イト思ヒマス

○村上恭一君 私ハ此ノ三件ニ付キマシテ
ノ贊否ノ意見ヲ申述ベタイト思ヒマス、第
一ノ民法中改正法律案デゴザイマスガ、是
ハ民法第七百四十九條第三項ノ現行規定ニ
變更ヲ加ヘヨウト云フノデゴザイマシテ、
戸主ノ家族ニ對スル離籍ノ權利ヲ制限シヨ
ウト云フ案デゴザイマス、此ノ點ニ付キマ
シテハ昨日私ガ申述ベマシタ通り、嘗テノ
臨時法制審議會ノ決議答申ニ於キマシテハ、
此ノ條項ヲ削除スル、即チ戸主ノ離籍權ヲ廢
止スルト云フコトデアアルノデアリマシテ、其ノ
臨時法制審議會ノ意見ニモ固ヨリ相當ノ理
由ハアルト考ヘマスガ、此ノ改正案ニ於キマ
シテ、直チニソコ迄行カズニ、一應斯様ナ
制限ヲ立テルト云フ中間ノ行キ方ヲシヨウ
ト云フ御考ヘモ、亦相當ノ理由ガアルト考ヘ
ラレマス、殊ニ臨時法制審議會ノ決議答申ガ
出來マシタ大正ノ終リ頃ト、爾來十數年ヲ經
過シマシタ今日トハ、此ノヤウナ問題ニ付キ
マシテ、世ノ中ノ一般ノ考方モ若干變テ來
テ居リヤウニモ察セラレマス、旁、致シマ
シテ私ハ本案ニ贊成シテ宜シイモノト思ヒ
マス、次ノ非訟事件手續法中改正法律案デ
ゴザイマスガ、是ハ皆様御承知ノ通り第一
ノ民法中改正法律ニ伴ヒマス手續規定ノ變
更デゴザイマス、是ハ是デ結構ナコトト思
ヒマス、尤モ私自身ノ意見ニ固執スル嫌ハ
ゴザイマスガ、茲ニ新タニ設ケラレマス非
訟事件手續法第八十九條ノ二第一項ノ本件

ノ裁判管轄ノ點ニ付キマシテハ、私一個ニ
於キマシテハ少々割リ切レナイヤウナモノ
ガアルヤウナ感ジヲ持チマスガ、併シ其故
ヲ以チマシテ、強ヒテ修正ヲ主張スル程ノ
重要サモナイヤウニ思ヒマスノデ、矢張り
原案ニ贊成致シタイト思ヒマス、最後ノ戸
籍法中改正法律案デゴザイマスガ、是ハ戸
籍ノ贖本、抄本ノ交付又ハ之ニ代ル事項ニ
付キマシテ、簡便ナル處置ヲ設ケルト云フ
改正デゴザイマシテ、此ノ事務取扱官廳ノ
側ニ於キマシテモ、亦其ノ取扱ヲ受ケル人
民ノ側ニ於キマシテモ便利ノコトト思ヒマ
スノデ、是デ宜シイコトト思ヒマス、唯ソ
コニ一ツ希望ヲ申添ヘマスレバ、此ノ改
正ニ依リマシテ新タニ出來マスル取扱ニ付
テ、手数料ヲ徴收スルコトニナリマス、ソ
レハ固ヨリ當然ナコトデアリマスガ、其ノ
手数料ヲ多額ニシナイヤウニ、成ベク安ク
取扱フト云フコトニ取計ヒテ願ヒタイト存
ズルノデアリマス、ソレカラ此ノ戸籍法中
改正法律案ニ付キマシテ、甚ダ細カイコト
デアアルノデアリマスガ、氣付キマシタ儘ヲ
申添ヘテ置キタイト思ヒマス、私共ガ配付
ヲ受ケテ居リマス此ノ議案ニハ誤植ト認メ
ラレル點ガゴザイマス、ソレハ第一頁ノ最
後ノ行デゴザイマス、第十四條第二項云々
ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ストアリマ
ス、是ハ第十四條ノ三ノ第二項デアリマス
カラ、肩ガ一字下ラナケレバナラヌノデア
リマス、是ハドコデ間違ヒマシタノカ、ドッ
カデ斯ウ云フ間違ヒヲ生ジテ居リマスノデ、
是ハ原案ニ對スル修正デアリマセヌ、此

ノ裁判管轄ノ點ニ付キマシテハ、私一個ニ
於キマシテハ少々割リ切レナイヤウナモノ
ガアルヤウナ感ジヲ持チマスガ、併シ其故
ヲ以チマシテ、強ヒテ修正ヲ主張スル程ノ
重要サモナイヤウニ思ヒマスノデ、矢張り
原案ニ贊成致シタイト思ヒマス、最後ノ戸
籍法中改正法律案デゴザイマスガ、是ハ戸
籍ノ贖本、抄本ノ交付又ハ之ニ代ル事項ニ
付キマシテ、簡便ナル處置ヲ設ケルト云フ
改正デゴザイマシテ、此ノ事務取扱官廳ノ
側ニ於キマシテモ、亦其ノ取扱ヲ受ケル人
民ノ側ニ於キマシテモ便利ノコトト思ヒマ
スノデ、是デ宜シイコトト思ヒマス、唯ソ
コニ一ツ希望ヲ申添ヘマスレバ、此ノ改
正ニ依リマシテ新タニ出來マスル取扱ニ付
テ、手数料ヲ徴收スルコトニナリマス、ソ
レハ固ヨリ當然ナコトデアリマスガ、其ノ
手数料ヲ多額ニシナイヤウニ、成ベク安ク
取扱フト云フコトニ取計ヒテ願ヒタイト存
ズルノデアリマス、ソレカラ此ノ戸籍法中
改正法律案ニ付キマシテ、甚ダ細カイコト
デアアルノデアリマスガ、氣付キマシタ儘ヲ
申添ヘテ置キタイト思ヒマス、私共ガ配付
ヲ受ケテ居リマス此ノ議案ニハ誤植ト認メ
ラレル點ガゴザイマス、ソレハ第一頁ノ最
後ノ行デゴザイマス、第十四條第二項云々
ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ストアリマ
ス、是ハ第十四條ノ三ノ第二項デアリマス
カラ、肩ガ一字下ラナケレバナラヌノデア
リマス、是ハドコデ間違ヒマシタノカ、ドッ
カデ斯ウ云フ間違ヒヲ生ジテ居リマスノデ、
是ハ原案ニ對スル修正デアリマセヌ、此

ノ裁判管轄ノ點ニ付キマシテハ、私一個ニ
於キマシテハ少々割リ切レナイヤウナモノ
ガアルヤウナ感ジヲ持チマスガ、併シ其故
ヲ以チマシテ、強ヒテ修正ヲ主張スル程ノ
重要サモナイヤウニ思ヒマスノデ、矢張り
原案ニ贊成致シタイト思ヒマス、最後ノ戸
籍法中改正法律案デゴザイマスガ、是ハ戸
籍ノ贖本、抄本ノ交付又ハ之ニ代ル事項ニ
付キマシテ、簡便ナル處置ヲ設ケルト云フ
改正デゴザイマシテ、此ノ事務取扱官廳ノ
側ニ於キマシテモ、亦其ノ取扱ヲ受ケル人
民ノ側ニ於キマシテモ便利ノコトト思ヒマ
スノデ、是デ宜シイコトト思ヒマス、唯ソ
コニ一ツ希望ヲ申添ヘマスレバ、此ノ改
正ニ依リマシテ新タニ出來マスル取扱ニ付
テ、手数料ヲ徴收スルコトニナリマス、ソ
レハ固ヨリ當然ナコトデアリマスガ、其ノ
手数料ヲ多額ニシナイヤウニ、成ベク安ク
取扱フト云フコトニ取計ヒテ願ヒタイト存
ズルノデアリマス、ソレカラ此ノ戸籍法中
改正法律案ニ付キマシテ、甚ダ細カイコト
デアアルノデアリマスガ、氣付キマシタ儘ヲ
申添ヘテ置キタイト思ヒマス、私共ガ配付
ヲ受ケテ居リマス此ノ議案ニハ誤植ト認メ
ラレル點ガゴザイマス、ソレハ第一頁ノ最
後ノ行デゴザイマス、第十四條第二項云々
ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ストアリマ
ス、是ハ第十四條ノ三ノ第二項デアリマス
カラ、肩ガ一字下ラナケレバナラヌノデア
リマス、是ハドコデ間違ヒマシタノカ、ドッ
カデ斯ウ云フ間違ヒヲ生ジテ居リマスノデ、
是ハ原案ニ對スル修正デアリマセヌ、此

ノ裁判管轄ノ點ニ付キマシテハ、私一個ニ
於キマシテハ少々割リ切レナイヤウナモノ
ガアルヤウナ感ジヲ持チマスガ、併シ其故
ヲ以チマシテ、強ヒテ修正ヲ主張スル程ノ
重要サモナイヤウニ思ヒマスノデ、矢張り
原案ニ贊成致シタイト思ヒマス、最後ノ戸
籍法中改正法律案デゴザイマスガ、是ハ戸
籍ノ贖本、抄本ノ交付又ハ之ニ代ル事項ニ
付キマシテ、簡便ナル處置ヲ設ケルト云フ
改正デゴザイマシテ、此ノ事務取扱官廳ノ
側ニ於キマシテモ、亦其ノ取扱ヲ受ケル人
民ノ側ニ於キマシテモ便利ノコトト思ヒマ
スノデ、是デ宜シイコトト思ヒマス、唯ソ
コニ一ツ希望ヲ申添ヘマスレバ、此ノ改
正ニ依リマシテ新タニ出來マスル取扱ニ付
テ、手数料ヲ徴收スルコトニナリマス、ソ
レハ固ヨリ當然ナコトデアリマスガ、其ノ
手数料ヲ多額ニシナイヤウニ、成ベク安ク
取扱フト云フコトニ取計ヒテ願ヒタイト存
ズルノデアリマス、ソレカラ此ノ戸籍法中
改正法律案ニ付キマシテ、甚ダ細カイコト
デアアルノデアリマスガ、氣付キマシタ儘ヲ
申添ヘテ置キタイト思ヒマス、私共ガ配付
ヲ受ケテ居リマス此ノ議案ニハ誤植ト認メ
ラレル點ガゴザイマス、ソレハ第一頁ノ最
後ノ行デゴザイマス、第十四條第二項云々
ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ストアリマ
ス、是ハ第十四條ノ三ノ第二項デアリマス
カラ、肩ガ一字下ラナケレバナラヌノデア
リマス、是ハドコデ間違ヒマシタノカ、ドッ
カデ斯ウ云フ間違ヒヲ生ジテ居リマスノデ、
是ハ原案ニ對スル修正デアリマセヌ、此

ノ裁判管轄ノ點ニ付キマシテハ、私一個ニ
於キマシテハ少々割リ切レナイヤウナモノ
ガアルヤウナ感ジヲ持チマスガ、併シ其故
ヲ以チマシテ、強ヒテ修正ヲ主張スル程ノ
重要サモナイヤウニ思ヒマスノデ、矢張り
原案ニ贊成致シタイト思ヒマス、最後ノ戸
籍法中改正法律案デゴザイマスガ、是ハ戸
籍ノ贖本、抄本ノ交付又ハ之ニ代ル事項ニ
付キマシテ、簡便ナル處置ヲ設ケルト云フ
改正デゴザイマシテ、此ノ事務取扱官廳ノ
側ニ於キマシテモ、亦其ノ取扱ヲ受ケル人
民ノ側ニ於キマシテモ便利ノコトト思ヒマ
スノデ、是デ宜シイコトト思ヒマス、唯ソ
コニ一ツ希望ヲ申添ヘマスレバ、此ノ改
正ニ依リマシテ新タニ出來マスル取扱ニ付
テ、手数料ヲ徴收スルコトニナリマス、ソ
レハ固ヨリ當然ナコトデアリマスガ、其ノ
手数料ヲ多額ニシナイヤウニ、成ベク安ク
取扱フト云フコトニ取計ヒテ願ヒタイト存
ズルノデアリマス、ソレカラ此ノ戸籍法中
改正法律案ニ付キマシテ、甚ダ細カイコト
デアアルノデアリマスガ、氣付キマシタ儘ヲ
申添ヘテ置キタイト思ヒマス、私共ガ配付
ヲ受ケテ居リマス此ノ議案ニハ誤植ト認メ
ラレル點ガゴザイマス、ソレハ第一頁ノ最
後ノ行デゴザイマス、第十四條第二項云々
ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ストアリマ
ス、是ハ第十四條ノ三ノ第二項デアリマス
カラ、肩ガ一字下ラナケレバナラヌノデア
リマス、是ハドコデ間違ヒマシタノカ、ドッ
カデ斯ウ云フ間違ヒヲ生ジテ居リマスノデ、
是ハ原案ニ對スル修正デアリマセヌ、此

ノ印刷ノ正誤デアラウト思ヒマスガ、左様ニ正誤セラレルト云フ了解ノ下ニ此ノ委員會ニ於キマシテ之ヲ御可決ニナラムコトヲ希望致シマス、折好ク司法大臣柳川閣下ノ御臨席ヲ得マシタノデ、此ノ機會ニ私ノ希望ヲ申述ベテ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマサガ、ソレハ昨日縷々申上ゲマシタ、去ル昭和十四年臨時法制審議會ニ於テ決議答申ニナリマシタ民法親族編及相續編中ノ改正要綱、之ヲ取上ゲテ法文化スル、民法法典ノ親族編、相續編ニ全面的ノ改正ヲ加ヘラレルト云フコトヲ一日モ速カニ御實行ニ相成リタイト云フコトヲ特ニ柳川閣下ニ申述ベテ置キタイト思ヒマス

○男爵奥田剛郎君 原案ニ賛成致シマス

○副委員長(子爵加藤泰通君) 外ニ御意見ゴザイマセヌカ……然ラバ民法中改正法律案、非訟事件手續法中改正法律案、戶籍法中改正法律案、此ノ三案ヲ一括致シマシテ採決ヲシタイト思ヒマス、本案ニ賛成ノ御方ノ御舉手ヲ願ヒマス

(總員舉手)

○副委員長(子爵加藤泰通君) 全會一致ト認メマス、ソレデハ三案トモ可決致シマシタ、ソレデハ是デ委員會ヲ散會致シマス
午前十時四十三分散會
出席者左ノ如シ

副委員長 子爵加藤 泰通君
委員

木村 尙達君
村上 恭一君
男爵近藤 滋彌君
男爵奥田 剛郎君
山隈 康君
塩田 團平君

國務大臣

司法大臣 柳川 平助君

政府委員

司法次官 三宅正太郎君

司法省民事局長 坂野 千里君